

令和6年6月4日

埼玉県サッカー協会
各種別委員会 各位
各種連盟 各位
関係各位

公益財団法人埼玉県サッカー協会 会長
鈴木 茂

落雷事故防止対策の徹底について

謹啓 平素より本協会事業に格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

近年の地球温暖化や平均気温の上昇の影響に伴い、年々全国各地での落雷件数が増えており、サッカーやフットサル活動における事故防止対策がより強く求められております。

サッカーファミリー一人ひとりの安全確保のために、未然に事故を防止するために、全ての関係者が落雷に対する正しい知識と、事前の情報収集や避難経路の確認なども含めた万全の準備をしておくことが大切です。

「危険・兆候が確認されたら公式戦・練習にかかわらず躊躇なく中止すること」、「周辺で雷注意報・兆候がある場合、専門的なウェブサイトで常時天候情報を確認すること」を基本に、安全と命を守る即座の判断と賢明な対応を講じて下さいますようお願い申し上げます。

謹白

《事前に確認しておくべき事項》

➤ 気象情報の確認(専門的ウェブサイト)

気象庁の「雷注意報」の発表状況や、「雷ナウキャスト」で実際の落雷・雷発生状況や今後の予測などの情報収集を行う。

➤ 気象情報の確認(目視・音での確認)

積乱雲の発生、黒雲の接近、冷たい風、雷光や雷鳴などから危険の高まりを予測する。

➤ 避難場所の確認

雷の時の避難場所があるか否かを事前に確認しておく。

安全と思われる場所	危険と言われている場所
● 自動車等の乗り物の内部	● 避雷設備のないあずま屋(屋根と柱だけで壁のない建物)
● 鉄筋コンクリート製の建物の内部	● テントや掘っ建て小屋
● 避雷設備の施された建物の内部	● 木のそば
...	...

➤ 中断からの再開基準

気象情報提供先より周辺の落雷・雷注意報を確認し、雷活動(雷鳴・雷光)が止んでから20~30分以上経過し、活動を再開する。雷活動が止む予想が立たない場合は躊躇なく中止する。

➤ 万一の時の対応方法

救急車を呼び、救急車が到着するまでの間、AEDの使用、心肺蘇生、火傷の手当てなど応急処置を施す。

《参考資料》

■ JFA サッカー活動中の落雷事故防止対策について(イラスト付きスライド)

<https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/rakurai.pdf>